

## 公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	たいよう児童デイサービス中葛西	公表日	2025年 12月 1日		
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		パーテーションを利用して、スペースを区切り視覚的なアプローチを行なっています。	設備を増やしていきたいです。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	3	適切な人員配置を行なっています。	利用児童数により配置を増やせるように検討します。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的に分かりやすいよう行なっています。バリアフリーになっており、介助が必要な場面は支援に当たっています。	トイレに段差がある為、視覚的に段差が認識しやすいようになっていますが、分かりやすくいたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		リラックススペース、アクティブラーニングスペースと活動内容に合わせて空間を作っています。	スペースの問題がある為、同時に使うと狭くなる事があります。より良い配置を検討中です。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		パーテーションで区切って、個別に対応を行なっています。	パーテーションの数に限りがあり、多くに対応が出来ない為、設備拡充を検討しております。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	常に行い、結果を共有しています。	共有が遅く、伝達に時間がかかる事があるので迅速に行なっています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	毎回結果を公表しており、検討を行なっています。	結果に対して確実に対応が出来ていない箇所がある為、行えるようにしていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的なミーティングを行なっており、業務改善に繋げています。	参加職員に偏りが出る事があるので、スケジュールを検討していきます。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1	第三者評価は行なっていません。	今後、行なっていく事を念頭に改善を行なっていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		常に研修の案内を行い、参加した場合には全体への周知を行なっています。 事業所内でも行なっています。	研修参加の頻度が少ないため、多く参加できるように改善していきます。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		ホームページでプログラムの公表を行なっています。	事業所内にも、分かりやすく公表していきます。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		適切にアセスメントを行なっています。児童に変化があった場合は迅速に計画の変更を行なっています。	アセスメントを頻度多く行なっていきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1	常に職員と支援内容について検討を行い、共通理解のもと行なっています。	迅速に行えるように検討していきます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	計画に沿った支援を行なっています。計画書も見やすいよう全体に周知を行なっています。	計画書を引用しながらの支援が行えるようにしていきます。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		アセスメントを適切に行なっております。	今後も適切に行えるようにしていきます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	計画書の書式を新しくして、5領域に沿った支援計画を作成しています。	今後とも計画書を5領域を踏まえながら作成を行なっていきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		全体で話し合い、プログラムの立案を行なっています。	継続して行なっていきます。

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		職員の得意分野や研修や他事業の内容などを常に把握し変化を持たせるようにしています。	今後も継続して行なっていきます。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童の特性に合わせて、適時組み合わせて支援を行なっています。	今後も継続して行なっていきます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	支援を行なう前に支援内容の話し合いを行なっています。	今後とも継続的に行なっていきます。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		適時共有を行なっています。	継続して行なっていきます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		支援を行なった後、結果や経過を適切に記録しており、話し合いや計画書の改善に繋げています。	記録内容の充実に努めています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	1	定期的にモニタリングを行なっています。	検討する回数を多く取り、より良い計画作成に努めています。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	1	組み合わせて行なっています。	継続して行なっていきます。
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己選択・自己決定の機会を活動の中に設けて、選択をしてもらっています。	選択肢を増やしたり、機会の提供を今後も行なっていきます。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員などの職員を参加させています。	今後も継続して行なっていきます。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	適時連携を図っています。関係性の構築に努めています。	関係機関との連携強化に努めています。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか。	8		迎えの際や担当者会議の際に情報の共有を行なっています。	今後も継続して行なっていきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		関係機関と情報の共有を行なっています。	情報の共有を継続して行なっています。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	保護者、学校へ支援内容の情報を提供しております。要望があった場合に提供を行なっています。	関係機関との連携強化に努めています。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3	センターと常に関係を図っており、研修参加やアドバイスをもらっています。	これからも継続して研修やアドバイスを受けられるようにしていきます。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	今の所、明確な活動の機会は持っていないが、地域に出掛けています。	交流の機会を増やしていきます。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	参加しています。	継続して行なっています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時、直接保護者に状況を伝えるようにしています。	継続して行なっています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	SNSを通して、保護者へ案内を行なっています。	情報提供を今後も多く行なっています。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	行なっています。	分からぬ場合には個別に対応を行なっています。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	設けています。	回数多く出来るようにします。
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1	計画内容を示しながら支援内容の説明を行い、保護者よりで同意を得ています。	今後も安心して支援を受けられるように説明を行なっています。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		相談はいつでも受けられるように、メール・電話等受付、対応を迅速に行なっておりま	す。的確な助言であったか、保護者に確認をとり、またフィードバックできるようにしてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	2	現時点で交流会は設けておりませんが、必要と要望がありましたら、応えられるようにしてしております。	ご意見がありましたら検討をさせていただきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		迅速な対応を心がけています。	真摯に対応出来るように努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月の通信紙、SNSでの発信を行なっています。	継続して情報の発信を行なっていきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		取り扱いに十分留意しております。	継続して行なっていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カードや筆記などによる意思伝達が出来るようにしています。	今後も伝達方法を検討しながら、意思尊重を図ってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	現時点で地域の交流は行なっておりませんが、近隣住民との交流は行なっております。	地域に根付いた運営を心がけてまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	1	マニュアルを揃え、いつでも見れるようにしてあります。	今後、順次マニュアルの確認と理解を職員に行なってまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1	策定しており、災害物資の準備、避難訓練を定期的に行なっています。	計画の説明を行い、理解を促します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約の際・状態の変化があった際など、保護者より確認を行うようにしています。	今後も継続して行なっていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		指示書の提出を行なっております。	今後も保護者に説明を行い、ご理解いただき提出をお願いしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全管理に必要な研修を行なっております。	継続的に研修参加を行い、安全に配慮してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	説明を行なっております。	口頭での説明に加え、書面でも行なっていくようにします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		定期的に行い、再発防止に取り組んでいます。企業グループ全体でも情報の共有を行っています。	報告書の提出を促すようにし、再発防止に努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的に行なっています。企業グループ全体でも行なっております。	研修の回数を増やしていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		委員会を設置し、ケース毎に適切か不適切かの判断を行っています。	継続して委員会での検討を行なってまいります。